

肝炎治療受給者証認定に係る診断書（再治療）

（インターフェロンフリー治療）

※この診断書は、日本肝臓学会肝臓専門医以外は作成することができません。

※当該インターフェロンフリー治療の2か月期間延長は不可です。

※診断書の有効期間は、記載日から3か月以内です。

ふりがな		性	1 男	生	年 月 日 生		
氏 名		別	2 女	年 月 日	(満 歳)		
住 所	〒			電話 () -			

診 断 年 月 日	年 月	前医療機関名※判明している場合ご記入下さい。	前医師名※判明している場合ご記入下さい。
		連携医療機関名※判明している場合ご記入下さい。	連携医師名※判明している場合ご記入下さい。

過去の 治療歴	1 インターフェロン治療歴についてご記入下さい。
	<input type="checkbox"/> インターフェロン治療歴なし（未治療） <input type="checkbox"/> インターフェロン治療歴あり（これまでのすべての治療内容、結果を○してください） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法（中止・再燃・無効・不明） <input type="checkbox"/> ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤（薬剤名： _____） <input type="checkbox"/> 3剤併用療法（中止・再燃・無効・不明） <input type="checkbox"/> 上記以外の治療 （具体的に記載： _____）（中止・再燃・無効・不明）
チェック 及び ○をする	2 インターフェロンフリー治療歴についてご記入下さい。
	<input type="checkbox"/> インターフェロンフリー治療歴なし <input type="checkbox"/> インターフェロンフリー治療歴あり（薬剤名： _____）（中止・再燃・無効・不明）

診 断	<p>該当する項目にチェックする</p> <input type="checkbox"/> 慢性肝炎（C型肝炎ウイルスによる） <input type="checkbox"/> 代償性肝硬変（C型肝炎ウイルスによる）※ Child-Pugh分類Aに限る <input type="checkbox"/> 非代償性肝硬変（C型肝炎ウイルスによる）※ Child-Pugh分類B,Cに限る <small>※「オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤による治療/リバビリン併用療法」を使用することはできません。</small>
-----	---

肝がんの 合 併	<p>該当する項目にチェックする</p> <input type="checkbox"/> 合併あり（※「合併あり」の場合は医療費助成対象外となります。） <input type="checkbox"/> 合併なし <input type="checkbox"/> 過去に肝がんはあったが、現在はなし
-------------	--

治療内容	<p>インターフェロンフリー治療（注1） 治療開始予定月 申請日から概ね2か月以内に治療開始予定であることとします。</p> <p>【パンジェノタイプ(全てのジェノタイプ)】</p> <input type="checkbox"/> グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル配合錠（注2）
	<p>※8週と12週がありますのでご注意ください。</p> <p>年 月 ~ 12週 年 月 ~ 8週</p> <input type="checkbox"/> ソホスビル/ベルパタスビル配合錠及びリバビリン併用療法（注3） 年 月 ~ 24週 <input type="checkbox"/> ソホスビル/ベルパタスビル配合錠（注3） 年 月 ~ 12週 <p>【セログループ1（ジェノタイプ1）】</p> <input type="checkbox"/> レジパスビル/ソホスビル配合錠による治療 年 月 ~ 12週 <input type="checkbox"/> エルバスビル及びグラゾプレビル併用療法 年 月 ~ 12週 <p>【セログループ2（ジェノタイプ2）】</p> <input type="checkbox"/> レジパスビル/ソホスビル配合錠による治療 年 月 ~ 12週 <input type="checkbox"/> ソホスビル及びリバビリン併用療法 年 月 ~ 12週 <p>【セログループ1（ジェノタイプ1）セログループ2（ジェノタイプ2）以外】</p> <input type="checkbox"/> ソホスビル及びリバビリン併用療法 年 月 ~ 24週 <p>【その他治療方法】（インターフェロンフリー治療に限る）</p> <input type="checkbox"/> () 年 月 ~ 週

(注1) 各薬剤の添付文書「禁忌」項目等を必ず確認してください。

(注2) 前治療歴のある慢性肝炎では、8週・12週いずれも可。ただし、代償性肝硬変、セログループ1(ジェノタイプ1)・セログループ2(ジェノタイプ2)以外の慢性肝炎は12週のみ可。

(注3) 再治療歴のある慢性肝炎もしくは代償性肝硬変では、リバビリン併用療法により24週のみ可。非代償性肝硬変では、12週のみ可。

今回の治療開始前の所見を記入する

検査所見

チェック
及び
記入する

1 C型肝炎ウイルスマーカー (検査日: 年 月 日)
※記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい。
(1) HCV-RNA定量 _____ (単位: LogIU/mL、測定法 _____)
_____ (単位: IU/mL、測定法 _____)

(2) ウイルス型 ※治療方法(薬剤)との関連性にご注意しご記入下さい。
 セロタイプ(グループ) 1
 セロタイプ(グループ) 2
 判定不能 → ジェノタイプ1
_____ ジェノタイプ2
_____ 上記いずれも該当無

2 血液検査 (検査日: 年 月 日)
※記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい。
※CcrならびにeGFR(クレアチニン)が判明している場合は記載して下さい。
・AST _____ IU/L (施設の基準値: _____ ~ _____)
・ALT _____ IU/L (施設の基準値: _____ ~ _____)
・ヘモグロビン _____ g/dL (施設の基準値: _____ ~ _____)
・血小板数 _____ ×10⁴/μL (施設の基準値: _____ ~ _____)
・クレアチニン _____ mg/dL (施設の基準値: _____ ~ _____)
・Ccr _____ mL/min
・eGFR _____ mL/min/1.73m²
(クレアチニン)

3 画像診断及び肝生検などの所見 (検査日: 年 月 日)
※記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい
(所見)

4 (肝硬変症の場合) Child-Pugh (検査日: 年 月 日)
※記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい
_____点 分類 (A B C)

	結果	施設の基準	1点	2点	3点
肝性脳症	/	/	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 軽度 (I・II)	<input type="checkbox"/> 昏睡 (Ⅲ以上)
腹水	/	/	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 軽度	<input type="checkbox"/> 中等度以上
アルブミン値 (g/dL)		~	<input type="checkbox"/> 3.5超	<input type="checkbox"/> 2.8~3.5	<input type="checkbox"/> 2.8未滿
プロトロンビン時間 (%)		~	<input type="checkbox"/> 70超	<input type="checkbox"/> 40~70	<input type="checkbox"/> 40未滿
総ビリルビン値 (mg/dL)		~	<input type="checkbox"/> 2.0未滿	<input type="checkbox"/> 2.0~3.0	<input type="checkbox"/> 3.0超

5 HCV薬剤耐性変異検査 (検査日: 年 月 日)
※記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい
 耐性変異なし 耐性変異あり (_____)

※可能な場合はチェックをしてください。なお、混合診療にならないようご注意ください。

治療上の
問題点

※薬剤耐性変異がある場合や、人工透析をしている等、治療をする上で問題となる点があればご記入下さい。

上記のとおり、以前とは異なるインターフェロンフリー治療薬による再治療を行う必要があると診断します。

医療機関名 _____ 記載年月日: 年 月 日

所在地 _____ 日本肝臓学会肝臓専門医である

電話番号 _____ 医師氏名 _____ ㊞

認 定 基 準

HCV-RNA陽性のC型慢性肝疾患 (C型慢性肝炎若しくはChild-Pugh分類AのC型代償性肝硬変又はChild-Pugh分類B若しくはCのC型非代償性肝硬変) で、インターフェロンを含まない抗ウイルス治療を行う予定、又は実施中の者のうち、肝がんの合併のないもの

肝炎治療受給者証認定にかかるとの注意事項 (必ずお読みください)

- 1 本診断書は治療実施医療機関の日本肝臓学会肝臓専門医が作成し、自署または記名押印が必要です。
- 2 インターフェロンフリー治療の医療費助成はC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類AのC型代償性肝硬変に対しては原則1回のみ助成とし、Child-Pugh分類B又はCのC型非代償性肝硬変に対しては1回のみ助成とします。なお、副作用等による2か月期間延長はできません。またC型肝炎ウイルスの除去を目的としたインターフェロンフリー治療で保険適用となっているものに限られます。
(入院の食費や住居費は助成対象外)
- 3 インターフェロンフリー治療中止後の副作用の治療に対する医療費助成は対象外です。
- 4 HCV薬剤耐性検査は、可能な場合に記入して下さい。なお、混合診療にご注意ください。
- 5 この診断書の作成費用は、医療費助成の対象外ですので、申請者に負担いただくこととなります。
- 6 肝炎治療を行う予定とは、申請日から概ね2か月以内に治療開始予定であることとします。
- 7 記載日前6か月以内(ただし、治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載して下さい。
- 8 診断書の有効期間は、記載日から3か月以内です。
- 9 肝炎治療開始時期を充分ご検討のうえ、治療開始時期に合わせて診断書を記載願います。
- 10 記載内容に不明な点がある場合は、大阪府担当課より個別に主治医照会を行う場合がありますのでご協力願います。

上記のほか、診断書の記載が不十分であったり、検査所見の内容から、対象患者さんが、肝炎ウイルスの除去を目的とするインターフェロンフリー治療の対象者でない判断された場合は、審査の結果、承認されない場合があります。